

令和6年度 大船渡市市民活動支援事業活動報告 NO.1

団体名 大洞地域公民館 老壮部

事業名 「御所野縄文遺跡で学び 大洞縄文遺跡を知る」バス研修

事業概要

大洞式縄文遺跡の勉強会として、縄文時代を総合的に学べる資産構成の御所野遺跡を訪ねる視察研修

実施効果

- ①大洞式縄文遺跡の価値、保存の重要性に改めて気づくことができた。
- ②遺跡の今後の観光資源として活用のため、草刈り・遺跡案内立看板設置などの、環境整備についての話し合いができた。
- ③潮風トレイル踏破および、貝塚見学来訪者に語れるように、学ぼうとする目標ができた。
- ④地域住民・地域の子供会とともに、大洞式縄文の価値を再考する勉強会を実施する活動目標ができた。

今後の展開

- ①遺跡保存する上で問題がなければ、遺跡指定地および近辺の草刈りなどの環境整備をする。
- ②大洞縄文遺跡の勉強に留まらず、今出山金山についても勉強会を開催し、老壮部として見聞を広めたい。
- ③大洞式縄文遺跡を訪れる人たちに、語りができるよう勉強会を実施する。
- ④地域住民・地域の子供会の交流機会を作り、学びの場とする。

令和6年度 大船渡市市民活動支援事業活動報告 NO.2

市民のみなさまへ

- ・赤崎町に存在する世界的価値のある、大洞式縄文遺跡を再度見直して、市の観光の発展起爆剤の一つとして捉え、地元赤崎町だけにとどまらず、大船渡市内に世界的価値のある遺跡があることに誇りと自信を持って欲しいと思います。
- ・少子化の中ですが、子孫への伝承を継続して、次世代につなげよう。
- ・観光客の誘致増加につなげるため、市民の知恵・底力と協力で、今後の発展につなげたい。



御所野遺跡視察団体写真



視察当日：東海新報に掲載

令和6年 大洞縄文遺跡勉強会・御所野縄文遺跡視察研修 (令和6年12月7日実施)

事業アンケート (提出 16名)

以下の質問にお答えください。

あてはまるものに○、または()にご記入をお願いします。

- ① 性別と年齢を教えてください。 男 6名 ・ 女 10名
- 64歳以下・65～74歳 5名・75～79歳 9名・80歳代 2名・90歳代
- ② 老壮部の勉強会・講習会・軽運動等の体験事業には毎回参加していますか？
- ほぼ毎回参加 12名 ・ ときどき参加 4名 ・ 初めて参加した
- ③ 縄文遺跡の勉強会、視察研修の内容はいかがでしたか？
- 大変よかった 11名・ よかった 5名 ・ よくなかった・わからない
- ④ 今後も勉強会、視察・研修等に参加したいと思いますか？
- 余り興味ない・ 興味ある10名 ・ 大いに興味ある5名 ・ わからない1名
- ⑤ 子供の頃の大洞縄文遺跡の思い出がありますか？
- ない 10名 ・ 余りない 5名 ・ ある1名 ・ 鮮明にある ・ 忘れた
- ⑥ どんな思い出がありますか？
- イ、他市・町から嫁いできたので思い出無し。(震災後に現在地転居もあり)

ロ、幼少時に近隣の畑で石礫等を見つけ、ここに貝塚があったと聞いても何等感動もなく、現在に至った。

ハ、仲間との共通の繋がりがあった。
- ⑦ 今後の大洞縄文遺跡に対する思いをお書きください。
- 次ページ参照願います。

- ⑧ イ、何も手付かずでただ草がぼうぼう茂っているのを見ると、少し整備して遺跡を見に来る人を増やす事が出来れば良いのではと思います。
- ロ、御所野縄文遺跡は発掘調査後、史跡公園として整備された事により評価が高まり、世界遺産に登録されたが、大洞縄文遺跡は国の史跡ではあるがより魅力を高めるにはどの様にすれば良いか難しい課題ではあると思うが？
- ハ、地元の赤崎小・東朋中子供達は、数度授業の一環として遺跡現場を訪れ学習をし、地元の世界的価値のある大洞遺跡群を今後、市の発展に活用出来る様に学習・保護して代々伝える手段を講じて戴く事を念願しています。(多数同様意見有り)
- 二、遺跡の場所が分かりにくいにあるので、遺跡も含めて大洞交流館に併設されている資料館に入って見ようと思える様な案内看板等に工夫があれば、多数の人が足を運ぶ場所になるのではないのでしょうか？ 又、なって欲しい。(多数同様意見有り)
- ホ、出来れば発掘手付かずの所が在れば発掘し、子供達に知って欲しい、覚えていて欲しい。
- ヘ、何等遺跡としての表示物が無く、住んでいる自身も重要な事と思っていなかったが、この頃はトレイル走破の人達も増えて来ており、将来の子供達へ世界的遺産を継承する為に、地域から働きかけを行い、大船渡市に何か取り組んで貰いたいと痛切に感じています。
- ト、管理費は掛ると思うが堅穴式住居等を制作、案内看板等を設置して遺構範囲を明確に説明する。(ここは住居跡ここまでは海岸で、そしてどこが最終捨て場でどんな道具で肉・魚を食して居たのかなど、せめて一連の縄文生活形態の説明板が場所々に在る事で、世界的に有名な大洞縄文遺跡群を視覚で捉え、身近に感じる事になるのでは？)
- * 遺産保存上可能であれば、大洞老壮部にての草刈り・環境保全等の作業を実施し、部員一同、大洞縄文遺跡保存活動の市への一助に成る所存です。

≡ 視察を終えてのアンケート まとめ